

資料4

意見交換（論点メモ）

我が国におけるGAPのあるべき姿

我が国におけるGAPの推進に向けて、次の段階（世代）のイメージはどのようなものか。我が国農業の実情に合致したGAPのあり方はどうあるべきか。

- 例 ・ 国内、輸出向けの両者に対応した推進
- ・ 個別の生産者の取組と地域としてまとまった取組への調和
- ・ 認証を含めた確認のあり方

様々なGAPに共通して求められるもの

我が国における取組状況を見ると様々なGAPがあるが、食品安全や環境保全などに関するGAP項目への取組を進める上で、研究機関等との連携の下に、共通的に必要な知見や情報をどのように蓄積していくべきか。

各GAPに共通する主要な項目に関し、詳しさの差などを整理して、産地等の関係者に提供すべきではないか。

（例 農薬や肥料などの共通する主要な項目の内容に関し、比較対照し、提供するなど）

食品安全や環境保全など共通する主要な項目のほかに、品質確保やコスト削減に資する項目など、GAPとしてどのような項目があり得るか。

国の役割

GAPを今後推進する上で、国に期待する役割はどのようなものか。